編集後記・Editorials

魚類学雑誌
52(1): 83

魚類学雑誌52巻1号は本論文2，短報7で，合計9篇の論文を掲載することができました．今回も総説を掲載することができませんでしたが，次号に掲載するべく編集作業を進めています．

今号に掲載した投稿規定に一部変更があります．会員通信でくわしく説明したように，電子投稿をみとめるようにしました．また，総説については印刷費および別刷りに関して優遇処置をとることにしました．これによって皆様の総説投稿が増えることを期待しています．会員通信では，別刷代およびカラー印刷代についても表示しましたので，投稿の参考にしてください．会員通信の投稿先も，編集長に一元化しました．

なお，私は魚類学雑誌の主任を49巻1号から務めてきましたが，今号をもって佐々木邦夫さんに交代することになりました．当初の目標であった，論文投稿数の増加と会員通信の充実はほぼ達成することができ，魚類学雑誌の頁数も大幅に増加させることができました．これも皆様のご協力の賜と感謝しています．いろいろ不手際があったことはご容赦ください．

次号からの編集にも引き続きご協力ください．最後ですので，2点おねがいしたいと思います．1点は，日本語表現の問題です．投稿された論文については，編集委員，校閲者，主任が意見を述べるだけでなく，日本語表現についても相当手を入れることが多くなっています．主語はあるが，述語はどこかに飛んでいってしまっていたり，能動態のはずがいつの間にか受動態になっていたり，意味が不明であったりする文章が，最近増えているように思われます．論文を投稿される場合には，文章を十分に推敲し，特に若い研究者が投稿する場合には，指導教官や共著者の方は，十分に日本語を見てあげてください．

もう1点は，書評，図書紹介についてのお願いです．書評については，できるだけ毎号掲載するようにし，その他の図書についても何点か紹介するようにしてきました．和文誌に限らず英文誌についても，書評・図書紹介を充実させてほしいという要望が多いと聞いています．一方，編集部に書評・図書紹介依頼が寄せられることはほとんどなく，書籍については自分で購入したものか，出版社に直接連絡してとりよせたものを利用していました．会員の皆様は多くの書籍を出版されているのですから，編集部（長）にも送付されるようにお願いいたします．

今号の会員通信では，益田　一博士へのインタビュー記事を掲載することができました．多方面にわたる先生のご活躍の様子がよくわかり，多くの読者の関心を呼ぶと思います．インタビューをしてくださった林　公義さんもご苦労様でした．また，淡水魚の保全について活動しておられる2つの市民グループについての紹介記事を掲載することができました．どちらの執筆者の方も，研究を本来のお仕事とはしておらず，本学会にも加入しておられませんでした．今回，私の方から記事を依頼し，同時に学会にも加入していただきました．学会というと敷居が高いということで，入会をためらう方も多いかもしれませんが，今後は魚類に関心のある一般の方にもさらに学会に加入していただき，会員通信にも投稿いただければと思います．

（片野　修）